



名古屋いのちの電話



写真 中島初男

母（一）

水野源三

白い雲は

母の顔

笑った顔が

泣いた顔に変わり

雨となる

雨の音は

私のために

祈り続けてくれた

母の声

雨あがりの空は

私の重荷を

になってくれた

母の愛

いのちのことは社

「水野源三の世界」より

いじめ自殺や他殺、親殺し、子殺しと 人と人との境界線

臨床心理士 みわけいじ

いじめによる自殺事件が起きました。1例目は、何通かの手紙を教卓に置いて教室で自殺した北海道の小学校6年生の少女の場合です。「みんな私が嫌いですか？私が気持ち悪いですか？仲間に入れてもらえず、皆が冷たい感じがしました。とても悲しくて、苦しいことでした」と書いていた。いじめを匂わせているのに、これは手紙であり、遺書ではないと言い張ってきた学校や教育委員会が1年経過後に家族に謝罪しました。

2例目は、プリントの裏や画用紙の端っこに遺書を書きなぐって自宅で自殺した福岡の中学校2年生の少年の場合です。少年は自殺の直前に数人の男子生徒から「死ねるものなら死んでみろ」とトイレでからかわれ、「ズボンを下ろせ」などの辱めを受けていました。それよりひどいのが、中学1年の時に母親が担任教師に相談した内容を教師が授業中の生徒たちに漏らし、その相談内容を題材にして教師自らがからかい、いじめて、他の生徒たちがそれを模倣して、少年の心を自殺へと追い込んでいったというのです。その元担任（現学年主任）も含めて学校側と教育長が家族に謝罪しました。

これらの少女や少年が死ぬ前に、もしも、「いのちの電話」に電話をしてきていたらどうだったのでしょうか？きっと、相談員の誰もが、真剣に相談に乗り、感情移入し、共感し、慰め、励まし、勇気付けてあげたに違いありません。そして、2人の尊い命が助かっていたと思います。それを思

うと、残念でなりません。2人とも、自分を支持し応援してくれる人が身近にいたら、自尊心を強く持てるのにと悔やまれてなりません。

ここで、自殺についての所感を述べたいと思います。自殺は死の衝動が自分に向いています。他殺つまり殺人は死の衝動が相手に向いています。方向は正反対ですが、殺人を犯した人、あるいは犯そうとした人の場合、自分も死ぬ気である人がいます。福島章も『殺人という病』（金剛出版 p.35）という本で「殺人者の多くは自殺願望を抱く」と書いています。私は自殺願望の強い人が、それを止めようとした相手に傷を負わせる、もしくは殺しても構わないというような行動に出ることがあることを知っています。それで、自殺も他殺も、死の衝動が内向きか外向きかの違いだけで、似ていないようで実は似ていると思うようになったのです。もちろん、自分を殺すのも殺人と言

るでしょう。心中も、自殺に他殺が含まれています。自分が死んだ後の借金の取立てに苦しむのはかわいそうだからと一家全員を殺してから、自分も死のうとして死に切れず自首して逮捕された男などは、自分の人生のみならず家族の人生まで奪ってしまったのです。

他殺の中でも身近な人殺しである親殺しの事件はどうでしょう。「勉強をしろ！」と父親から圧力をかけられたことで、父親が職場の当直で不在中の家に放火して母親ときょうだいを焼き殺し

てしまいました。自分より強い人間に太刀打ちできないストレスを弱い者に吐き出す。このパターンに終止符を打つにはどうしたらよいのでしょうか？

子供に食事を与えずに衰弱死させた事例、風呂の水につけて溺死させた事例もありました。子供が言うことを聞かないから、お漏らしをするから躰のつもりでやったと親は言います。躰で青あざが出来るのでしょうか、殺されるのでしょうか？

これらの事例に共通している問題点は、人（子）が自分の思い通りになると思い込みすぎているという点だと私は思います。思い通りにならないからこそ、一人一人の人格があるのです。人が思い通りになるとき、その人の人格は育っていない、もしくは無視されているかもしれないし、壊れているかもしれないと考えることも必要です。

そもそも人は、子供であれ、配偶者であれ、親であれ、友であれ、ましてや恋人であれば、なおさら自分の思い通りに相手が動くということはあり得ないということを大前提にすべきではないでしょうか？

つまり、自分と人との間には見えない境界線があるのです。その境界線を越えないように慎重に確認し、繊細に、謙虚に、丁寧に配慮し、相手には相手の人生があることを自覚して、尊重することこそ、人の命が輝くことを保証するものです。人と人との境界線が守られているとき、人は皆平等で、人権が尊重されています。

その人と人との境界線を越えて侵入されると、傷つきや被害感、怒りや憎しみ、辱めと自己嫌悪、劣等感と空虚感といったマイナス面が生じます。つまり、自尊心が傷つきます。その上暴力が振られると、自己の体が、そして心が傷つきます。生きる気力を奪われて、自己破壊的な行動や自傷行為、大量服薬、自殺未遂など、死へと突き進むことがあります。その時「死の本能」が活性化さ

れたと考えられます。

一方、人と人との間の境界線が守られ、あるいは、修復された時には、安心と自信、親密と信頼、笑いとユーモア、仲間意識と連帯感、勇気と挑戦などのプラス面が生じます。困っているときや悲しんでいる時に話を聴き、力になり、慰め、励まされると、傷つき破られた境界線が修復され、傷や悲しみが癒されて、悩みが解決へと向かい、親切心や思いやりで支えられていると実感します。境界線を守り、修復するのを手伝ってくれた人に感謝の気持ちが湧いてきて嬉しく感じます。これは侵入されるのとは正反対です。待ちかね待ちわびて、望んでいた物を与えられて、自分の中にもともとあった誇りや自信を取り戻した感じですが、つまり、自尊心が勇気付けられるのです。人として尊重されたことで自己の体が、そして心が喜びます。生きる意欲が湧いてきて、生への勇気と希望、感謝と幸せ感が溢れてきます。「生の本能」が活性化された証です。

このように、人と人との境界線はとても大切なものです。胎児の時は子宮の羊水に守られ、新生児となってからは母親や父親、周囲の人々、衣食住などの環境に守られて、乳幼児期、児童期、思春期と徐々に私達は自他を区別する境界線を、人間関係の中で観察し、学び、試行錯誤で作ります。青年期・壮年期を迎えて、境界線はほぼ完成し、後は、しなやかさや臨機応変の柔軟性を身に付けます。実年期・老年期には、その経験から得た境界に関する知恵を自ら実践しながら、若者に伝える役割があります。お互いの境界を尊重しあう関係こそ、人権尊重の「互敬家族」*「互敬社会」*と言えるでしょう。

*「互敬家族」「互敬社会」は造語。お互いに敬い、尊重し合う家族や社会を指す。

生きがいを求めて

—神経難病患者さんと共に歩む—

国立病院機構東名古屋病院院長 松岡幸彦



私の専門分野は神経内科です。神経内科は脳・脊髄・抹消神経・筋肉に生じた疾患を取り扱う心療科です。最も多い疾患は、脳梗塞・脳出血などの脳血管障害であり、そのほかパーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症などの神経変成疾患、糖尿病性ニューロパチーなどの末梢神経疾患、筋ジストロフィーなどの筋疾患の診療も行います。これらの疾患では、根本的な治療法がないものが大部分を占めます。したがって、対症療法を行い、リハビリテーションによって日常生活活動（ADL）の維持を図りながら、QOLの向上を目指すことが重要となります。

QOLとは、クオリティ・オブ・ライフの略語です。この「ライフ」は、日本語で「生活」と訳すのが一般的ですが、実は「生命」、「生活」、「人生」と3つの側面を考慮することができまして、これを「ライフの3相」と呼ぶ場合もあります。「生命」と言った場合には、より生物学的な意味が強くなり、苦痛を緩和するというような場合が典型的です。「生活」となりますと、日常生活活動の向上が主体となります。そして、「人生」となりますと、もっと抽象的で、「生きがい」ということに繋がってきます。

私は神経内科医になって、いろいろな患者さんに関わって参りましたが、医師になりましたすぐ、スモンとの出会いがありました。昭和40年代前半には、たくさんの患者さんが発生いたしました。結局は、キノホルムという整腸剤の副作用であることが判明し、薬害となったわけです。しかし、この原因が突き止められるまでは、ウイルス感染

説が有力視されたため、患者さんは村八分にされたり、婚約を破棄されるなどのたいへんに辛い思いをされました。自殺者も出ました。当時に「いのちの電話」があればと悔やまれます。現在、私はこのスモン患者さんの恒久対策に取り組んでおります。

次に、筋ジストロフィー患者さんとも関わる機会がありました。この病気は遺伝性であり、お母さんが保因者であることが多く、男の子が発病するわけです。そこで、お母さんは周りから責められて、離婚されたとか、また自殺したとの例もありました。現在では遺伝相談や出生前診断なども発達してきました。ところで、この筋ジストロフィー患者さんのQOLを向上させた3つのものがあります。まず、人工呼吸器により、10年以上も延命できるようになりました。これは先ほどの「生命の質」に当たると考えられます。次に電動車椅子によって、人工呼吸器を装着しながらでも、どこでも走り回れるようになりました。これは「生活の質」に当たるものです。さらに「人生の質」に当たるのが、パソコンの普及です。これらによって、患者さんたちの生きがいは飛躍的に向上いたしました。

最近では、筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病の患者さんの生きがいの向上にも関わっております。

この原稿は2007年1月20日、名古屋栄ビルで行われた市民公開講座「生きがいを求めて」の講演の一部をまとめたものです。

谷川俊太郎さんという人

—チャリティ・イベント「日本語のかたち」にむけて—

舟 木 淳

俊太郎さんという人はほんとうに魅力的な人です。すてきな人です。子どもの心をもったまま大人になった人です。

やさしい、暖かい人です。が、いい気になってふみ込みすぎると、さりげなく、びしっとさえぎられる厳しさももった人です。

最初の出会いは二十数年も前でしたか、名古屋市の女性会館で、朗読グループ交流会の講演をお願いしたときでした。

講演は苦手なので対談の型でなら、ということ、私がお相手をさせていただいたのがきっかけでした。

その後も何度かお相手をさせていただきましたが、ちょっぴりシャイながら、いつもごく自然で対話的な話し方。

成程、講演が苦手という意味がよく解りました。

その上、リズムカルでテンポのいいたのしい話しぶり、言葉のひとつひとつのすばらしさは当然のこと、全くのムダのなさは見事なもので、ほとんど感心の他ありません。

更なる魅力はその若さです。見た目も心も、二十数年前とちっとも変わっていない、とくに心

の柔らかさは驚きです。

書く詩人、喋る詩人谷川俊太郎として、創られた詩の多さ、出版された本の多さ、そして、日本全国だけでなく、世界の各地にまでの活動の多さと広さで、恐らくこの人に並ぶ人はいないだろうと思われま

す。沢山の詩人が年を取ると孫の詩を書きます。ヂヂ馬鹿、ババ馬鹿ぶりに違った親しみを感じるたのしさはありますが、出来映えにはちょっと首を傾げるものが多いなかで、俊太郎さんの孫の詩は、ヂヂ馬鹿と照れをみせながらも見事に、読む人の心をとらえます。

飾らない人、セーターやシャツの似合う人、とくにTシャツの似合う人、どこへでもそのまま出かける人。

地を這う虫から宇宙のとどろきまでおもいを馳せる心豊かな人、鉄腕アトム

の詩を創った人。そんなすごい人でありながら、ちっとも偉ぶらない。むしろ親しめるすてきな人。

でも、何故だろう。私の最も強い印象は、“ひとり、さわやかに一番似合う人”

谷川俊太郎さんを迎えて朗読とおはなし

日本語のかたち

達人ふたりが生み出す豊かな日本語の世界

4月29日(日)

15:00開演(14:30開場)

名古屋市芸術創造センター

入場料 2,000円(当日券2,500円)

主催：名古屋いのちの電話チャリティ・イベント実行委員会

後援：中日新聞社会事業団 朝日新聞厚生文化事業団 NHK 厚生文化事業団

ご援助ありがとうございます

2006年10月より2007年1月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知のちの電話協会
理事長 野村 純一
財務委員会

賛助会員 A

木本 精之助	戸田 安士	石田 義人	志村 信夫	落合 亨子
堤 隆	伊藤 みつ子	出口 美津江	川上 厚成	青木 恵子
須田 静代	佐々木 武昭	伊部 宏	宮之原 弘	鶴野 秋信
小笠原 覚	佐藤 あさ子	小川義雄・マリ子	林高寺 興徳寺	永澤寺

愛知日野自動車(株)

賛助会員 B

橋本 茂乃	前田 佳子	白石 信喜	黒田 忠嘉	志村 澄江
豊島 徳三	岡部 美代子	近藤 和子	黒寺 田仁	長谷川 秀子
福田 みはる	佐々木 敏	杉山 志乃	柴田 素伸	平野 義明
高橋 青子	柳澤 幸輝	山野 トシミ	菅原 和夫	菅原 美智子
神戸 一子	西村 穰	加藤 明宏	金森 夕イ	

賛助会員 C

河村 公子	中川 晋介	鶴田 和子	中出 智恵子	松田 一路
田中 節子	矢野 静枝	柳生 球子	林 温江	不破 聖子
伊藤孝一・雅子	服部 伸枝	北條 とく子	加藤 武	椰川 佳延
小出 芳典	太田 立男	山下 タカ子	小湯 野美津子	尾関 閔枝
神谷 将弘	川村 弘子	鬼頭 洋子	長瀬 美知子	花村 三智
武嶋 恵子	小石川 恵子	西野友英・三緒子	長倉 久子	藤田 垣雄
野村 妙子	岩崎 一二三	飯塚 悦子	永田 はるい	岡田 和子
福田 忠徳	小幡 美登理	土屋 美恵子	岡嶋 恒夫	

点滴

正月明けのおだやかな朝、自転車に乗って家を出る。刈取った田んぼ、集落に一つはある小さな神社、私は自分の住むこの街が好きだ。

今日はデイサービスのお手伝いの日で、仲間と一緒に40名余りのお年寄りと一緒に過ごす。多勢の人と色々な話をしたり、歌を歌ったりして過ごすのは、私にとっても楽しい。ある日突然民生委員の方が訪ねて来るまで、自分の年のことなど考えていなかった。

民：独居老人の調査にまいりました。

私：??・・・それって私のことですか？

民：はい、そうです。

ということで否応なく自覚させられたのだが、いやー、まだまだイケル・・・とばかり、仲間と一緒にデイサービスに出張している。

今日も利用者は交代でお風呂に入ったり、お茶を飲んだり、などなど……。突然、90過ぎのおばあちゃんが軍歌を歌い出し、皆がそれに合わせて大合唱。軍歌も今となっては懐かしい歌なのかも知れない。

穏やかな顔をみせてくれるお年寄りの皆さんも夫々が大変な時代を生き抜いて来た人ばかり。「今はいいい世の中になったねえ。私、毎朝目が覚めると手を合わせるだよ」と言う。いとおいしいと言っては失礼になるかも知れないが、夫々話してくれる人生は生易しいものではない。老いの繰言と言ってしまえばそれまでだけれど、大切に聞いてあげたい。一日でも多く、幸せな気持ちで過ごしてもらいたいから……。 (Y.S)

電話相談員を募集しています

名古屋いのちの電話では第17期の電話相談員を募集しています。自殺者が年間3万人を
超す昨今、自殺防止を目的としたボランティア活動「いのちの電話」の重要性がますます高ま
っています。あなたも電話相談員として、さまざまな困難や不安に苦しむ人々の悩みや苦し
みを聴き、再び勇気をもって生きていけるように支援する「いのちの電話」の活動に参加して
みませんか。

募集期間：3月1日～4月30日

募集人数：100名程度

応募資格：23歳以上63歳までの男女で、「いのちの電話」の趣旨に賛同し、その活動
に積極的に参加できる方

研修期間：2007年5月～2008年3月 その後6ヶ月の実習研修があります

*詳しくは名古屋いのちの電話事務局 (052-971-5181) までお問い合わせ下さい。



賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。
会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。
社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させてい
ただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会
口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普) 477029
郵便振替口座 00810-8-53758

〔友の会便り〕

○友の会は、会員間の親睦をはかりながら「いのちの電話」の充実に役立つような奉仕活動を展開するために知恵と
力を合わせるべく努力を重ねております。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

○毎月第3水曜日11時より“友の会の集い”を開いております。気軽にお出掛けください。

○平成19年度友の会総会を開催いたします。

日時：4月29日(日・祝) 12:00～13:30 軽食を用意いたします

場所：名古屋いのちの電話会議室 近況報告と懇談

総会終了後、当日芸創センターにて開催の「日本語のかたち」にご参加ください。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会
名古屋いのちの電話

2007年春

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号
事務局 ☎ 052-971-5181 郵便振替口座 00810-8-53758
相談電話 ☎ 052-971-4343 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普) 477029
携帯相談電話 NTTドコモ東海「#9556」

2007年3月1日発行
発行人 野村 純一
編集人 広報委員会